

退 互 部 報

第 1 9 0 号

一般社団法人 宮崎県教職員互助会 退職互助部
〒 880-0801 宮崎市老松 1 丁目 2 番 2 号
TEL(0985)29-1243/FAX(0985)27-4146
Eメール: gojyokai@miyazaki-kyogo.or.jp
ホームページ: http://www.miyazaki-kyogo.or.jp/

総会議案特集号

一般社団法人移行に伴い、総会・理事会の権限がかわりました

宮崎県教職員互助会は、これまで民法に基づき主務官庁の監督のもと運営を行ってまいりました。平成25年4月1日をもって本会は、一般社団法人に移行し、法人自治のもと一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下、「法人法」という。）に基づく運営が強く求められております。

とりわけ、法人法には総会・理事会の権限が明確に規定されており、一般社団法人移行に伴い、総会・理事会の権限がかわりました。

1 総会の権限

移行前

- | | | |
|------------|---------------|---------------|
| 1 事業計画及び予算 | 2 掛金額及びその納入方法 | 3 役員を選出及び解任 |
| 4 定款の変更 | 5 解散及び残余財産の処分 | 6 実施事業及び決算の承認 |



移行後

本会は、理事会設置一般社団法人であるため、総会は法人法に規定する事項及び定款で定めた事項に限り決議することができます。

決議することができる事項は、次のとおりです。

- | | | |
|------------------------------|---------------|---------|
| 1 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認 | 2 定款の変更 | |
| 3 理事及び監事の選任又は解任 | 4 理事及び監事の報酬の額 | |
| 5 解散及び残余財産の処分 | 6 掛金額及びその納入方法 | 7 社員の除名 |

2 理事会の権限

移行前

- | | | |
|-------------|------------------|------------|
| 1 総会議案の決議 | 2 暫定予算の編成及び予算の補正 | 3 規程改正及び廃止 |
| 4 総会議決事項の執行 | | |



移行後

- | | | |
|-----------------|--------------|---------------|
| 1 事業計画及び予算の決定 | 2 理事の職務執行の監督 | 3 代表理事の選定及び解職 |
| 4 重要な財産の処分及び譲受け | 5 規程改正及び廃止 | 6 総会議案の決議 |
| 7 重要な職員の選任及び解任 | | |

事業計画書・収支予算書については、毎事業年度開始の前日までに、理事長が作成し、理事会の承認を受けなければなりません。

平成25年度 定時総会 を開催します

日時 平成25年6月27日（木）午後2時開会

場所 KITENビル 8階コンベンションホール [宮崎市]

一般社団法人移行後は、決算に伴い総会で承認を求める事項は「貸借対照表」及び「損益計算書（正味財産増減計算書）」となりました。収支ベースでの承認を求める必要はなくなりましたが、会員に理解していただくため、平成24年度収支決算の総括及び概況について次の通り報告します。

なお、「貸借対照表」及び「損益計算書（正味財産増減計算書）」については、第1号議案（3～5ページ）に掲載しています。

平成24年度 収支決算総括

現職会員数の減少に伴う掛金収入の減少及び新規貸付利用の減少に伴う貸付利息収入の減少、長引く低金利による運用収益の低迷が大きく影響しています。このような状況の中、経費削減等を図るとともに、安全で安定した利息収入が得られるよう取り組み、諸事業については継続して実施するとともに、事業検討委員会からの報告を踏まえ、人間ドックの実施及び子育て支援に関する事業等を実施しました。

また、県立美術館と共催で開催した「北京・故宮博物院展」や県内3地区で行った舞台芸術公演などの公益文化事業をはじめ、臨床心理士相談事業等を実施するなど、文化芸術の振興、厚生事業の充実を図りました。

一般会計

掛金収入は、前年度比1,015万円減の6億4,161万円、負担金収入及び雑収入、返済金収入は、13億3,747万円となりました。

一方、療養補助金支出やセカンドライフ助成金支出などの給付事業費支出は、前年度比775万円増の4億8,128万円となりました。

厚生事業費支出については、宿泊、鑑賞、メガネ購入補助やアイドック補助及び祝金事業の支出により、前年度比2,133万円増の7,561万円となっています。

文化公演事業費支出は、舞台芸術公演や文化講演会、スクールコンサートなどの公益目的事業を実施し、2,515万円となりました。

また、貸付金及び管理費で、11億1,955万円の支出を行いました。

特別会計

掛金収入は、前年度比1,086万円減の11億238万円、雑収入は、前年度比523万円減の5,520万円となりました。

一方、特別弔慰金支出や退職互助部会員への療養補助支出などの給付事業費支出については、前年度比326万円減の3億6,012万円となりました。

事業費、運営費支出は前年度比3,264万円減の8億9,940万円となっています。

収益事業会計

土地の賃貸料収入は、前年度比103万円減の563万円となっており、租税公課などの事業費支出は前年度比38万円減の262万円となっています。

平成25年度 定時総会議案

第1号議案

平成24年度（2012年度）決算に伴う 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認に関する件

1 提案理由

平成24年度決算を平成25年3月31日に行いました。

定款第15条第1項第4号に基づき、貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認を求めます。

2 提案事項

- 1) 貸借対照表
- 2) 損益計算書（正味財産増減計算書）

貸借対照表総括表

平成25年 3月31日現在

(単位：円)

	24年度3月末	23年度3月末	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
普通預金	416,716,673	325,338,440	91,378,233
定期預金	50,000,000	50,000,000	0
貸倒引当金	△ 276,000	△ 229,000	△ 47,000
前払金	21,917	0	21,917
未収金	1,120,000	647,000	473,000
流動資産合計	467,582,590	375,756,440	91,826,150
2. 固定資産			
(1)特定資産			
給付引当資産	1,046,172,691	1,171,805,135	△ 125,632,444
退互部加入掛金引当資産	3,035,827,309	2,960,194,865	75,632,444
退職給付引当資産	58,560,000	58,560,000	0
給付準備資産	3,129,000,000	3,469,000,000	△ 340,000,000
会館管理積立資産	69,000,000	78,000,000	△ 9,000,000
特定資産合計	7,338,560,000	7,737,560,000	△ 399,000,000
(2)その他固定資産			
建物	109,687,168	109,687,168	0
建物減価償却累計額	△ 40,203,087	△ 37,537,689	△ 2,665,398
土地	201,616,552	201,616,552	0
投資有価証券	61,246,700	52,093,054	9,153,646
有価証券	4,657,328,740	3,945,435,190	711,893,550
出資金	50,000	50,000	0
貸付金	3,423,215,004	3,645,867,592	△ 222,652,588
その他固定資産合計	8,412,941,077	7,917,211,867	495,729,210
固定資産合計	15,751,501,077	15,654,771,867	96,729,210
資産合計	16,219,083,667	16,030,528,307	188,555,360
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,043,902	1,732,433	△ 688,531
預り金	928,000	2,096,000	△ 1,168,000
賞与引当金	4,642,247	4,716,786	△ 74,539
流動負債合計	6,614,149	8,545,219	△ 1,931,070
2. 固定負債			
給付引当金	6,233,715,899	6,231,435,372	2,280,527
退互部加入掛金引当金	3,294,505,367	3,218,872,923	75,632,444
退職給付引当金	61,578,741	57,689,970	3,888,771
給付準備引当金	6,435,568,085	6,180,242,137	255,325,948
互助年金剰余等引当金	△ 5,431,298	△ 2,806,630	△ 2,624,668
固定負債合計	16,019,936,794	15,685,433,772	334,503,022
負債合計	16,026,550,943	15,693,978,991	332,571,952
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	192,532,724	336,549,316	△ 144,016,592
(うち特定資産への充当額)	(69,000,000)	(78,000,000)	(△ 9,000,000)
正味財産合計	192,532,724	336,549,316	△ 144,016,592
負債及び正味財産合計	16,219,083,667	16,030,528,307	188,555,360

正味財産増減計算書総括表

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位：円)

科 目	24年度3月末	23年度3月末	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
掛金収益	1,743,988,301	1,764,998,020	△ 21,009,719
受取負担金	12,680,800	12,350,800	330,000
賃貸料収益	5,627,321	6,657,962	△ 1,030,641
雑収益	166,206,456	168,521,728	△ 2,315,272
引当金取崩額	34,561,977	2,151,569,560	△ 2,117,007,583
投資有価証券評価益	9,153,646	7,416,000	1,737,646
有価証券評価益	169,976,940	92,322,950	77,653,990
経常収益計	2,142,195,441	4,203,837,020	△ 2,061,641,579
(2)経常費用			
給付事業費	841,393,959	836,902,779	4,491,180
厚生事業費	75,605,480	54,279,341	21,326,139
文化事業費	25,150,314	21,667,119	3,483,195
退職給付費用	0	0	0
事業費	855,983,101	888,043,996	△ 32,060,895
人件費	85,008,366	81,935,911	3,072,455
事務費	37,131,798	31,325,478	5,806,320
運営費	54,968,625	50,232,766	4,735,859
引当金繰入額	369,037,460	2,152,121,659	△ 1,783,084,199
投資有価証券評価損	0	189,241	△ 189,241
有価証券評価損	0	0	0
経常費用計	2,344,279,103	4,116,698,290	△ 1,772,419,187
当期経常増減額	△ 202,083,662	87,138,730	△ 289,222,392
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
有価証券売却益	58,397,530	47,937,000	10,460,530
経常外収益計	58,397,530	47,937,000	10,460,530
(2)経常外費用			
有価証券売却損	330,460	1,242,000	△ 911,540
土地減損損失	0	179,537,874	△ 179,537,874
経常外費用計	330,460	180,779,874	△ 180,449,414
当期経常外増減額	58,067,070	△ 132,842,874	190,909,944
当期一般正味財産増減額	△ 144,016,592	△ 45,704,144	△ 98,312,448
一般正味財産期首残高	336,549,316	382,253,460	△ 45,704,144
一般正味財産期末残高	192,532,724	336,549,316	△ 144,016,592
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	192,532,724	336,549,316	△ 144,016,592

第2号議案

役員選任に関する件

1 提案理由

現役員については、本総会の終結をもって任期満了となります。

このため、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第63条第1項により、次のとおり提案します。

2 提案事項

1) 理事候補者

氏名	現職名（退職互助部選出者は地区名）
石山重廣	中央南地区
入倉俊一	宮崎県教育庁財務福利課長
金丸光臣	中央東地区
下原政広	宮崎県教職員組合執行委員長
谷口保徳	宮崎県高等学校教職員組合執行委員長
鶴田歳明	宮崎県教職員互助会専務理事
飛田洋	宮崎県教育長
永迫直弘	宮崎県高等学校教職員組合書記長
中野ちはる	宮崎市立西池小学校教諭
永野雅康	綾町立綾中学校校長
西森敏弘	宮崎市立生目小学校校長
水間和彦	宮崎県教職員互助会主幹
福里裕典	宮崎県立明星視覚支援学校校長
山下敏仁	三股町立三股中学校事務主幹

2) 監事候補者

氏名	現職名（退職互助部選出者は地区名）
梅原裕二	宮崎県教育庁総務課長
串間弘康	中央西地区
谷口博次	宮崎県教職員組合書記長

・任期

2年間（平成27年度（2015年度）定時総会の終結の時まで）

※氏名の50音順に記載

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律
(選任)

第63条 役員及び会計監査人は、社員総会の決議によって選任する。

第3号議案

常勤役員の報酬に関する件

1 提案理由

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第89条により、次のとおり提案します。

2 提案事項

1) 算定根拠

①現職者にあつては、公益法人等への職員の派遣等に関する条例（平成13年宮崎県条例第49号）の規定に基づく派遣職員の取扱いに関する協定書により、発令給を保証します。

②退職者にあつては、再任用職員の給与に準じた額とします。

2) 宮崎県職員の給与に関する条例の改正があつた場合は、それを準用します。

3) 常勤理事（専務理事・常務理事 2名）の報酬 年額1,100万円以下とします。

積算根拠

①現職者 給料月額（411,562円）×12月＋期末勤勉手当3.95月分

②退職者 給料月額（293,200円）×12月＋期末手当2.1月分

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律
（理事の報酬等）

第89条 理事の報酬等は、定款にその額を定めていないときは、社員総会の決議によって定める。

報 告 事 項

平成25年度運営方針並びに事業計画

1) 運営方針

- (1) 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律や定款に則った新たな組織体制の確立に努めます。
- (2) 公益目的支出計画に基づき、教育及び文化、芸術、スポーツに関する公益文化事業を実施します。
- (3) 会員の健康維持・増進、経済支援、さらに生きがいつくりに関する福利厚生事業の一層の充実を図ります。
- (4) 特別弔慰金事業や退職互助部の療養補助金については、保険数理人の試算結果等を基に見直しを行います。
- (5) 関係団体等の協力を得ながら本会の事業の周知を図るとともに、新規採用者等の加入促進に取り組みます。
- (6) 今年度から公益法人会計基準（平成20年会計基準）を適用し、決算は年度末1回とします。
- (7) 「資産運用規程」に基づき、資産の安全でより効率的な運用に努めます。

2) 事業計画

■ 公益目的事業

- (1) 舞台芸術公演事業を実施します。
文楽等の古典芸能の公演など、国内外で評価の高い音楽や舞台芸術の公演を県内3地区で実施します。
- (2) 文化芸術振興事業を実施します。
県内では鑑賞する機会の少ない美術品や歴史的資料等の展覧会を宮崎県立美術館等と共催で実施します。
- (3) 文化講演会を実施します。
本県の文化・学術の振興を図るため、NPO法人や関係機関と連携し古事記編さん1300年・西都原発掘100年関連講演会を実施します。
- ② (4) 臨床心理士相談事業を実施します。
臨床心理士を学校に派遣し、生徒のカウンセリング及び教職員、保護者への相談・助言を行います。対象校は、平成24年度実績を踏まえ、さらに充実させて実施します。

また、事件・事故の発生に伴い緊急的に支援が必要な学校にも関係機関と協議し臨床心理士を派遣します。

なお、平成25年度は、発達障害等に関する研修会を関係機関と連携し開催します。

- ② (5) スクールコンサートを実施します。
県内の小中学校及び県立学校を会場に児童・生徒及び周辺の学校、地域住民等を対象に和楽器・洋楽器による音楽公演、演劇や人形劇等の舞台公演を、60公演を上限に実施します。平成25年度は、中央、県南地区の学校が対象です。

また、平成25年度から創立記念や落成記念などの記念式典の際、スクールコンサートの公演を希望する学校も対象に実施します。ただし、公演数は全所属を対象とし先着10公演までとします。

- (6) 文芸活動振興事業を実施します。

総合文芸誌を発行し、公共施設等に寄贈します。また専門家による講演と文芸誌掲載作品の批評を行う県民参加型の「合評会」や「文芸講座」等を実施します。

さらに、学校の文芸活動振興のため、県内の高等学校の文芸部等と連携し文芸誌に生徒作品を掲載するとともに、視覚障がい者の読書活動を支援するため、点字本を編集し点字図書館等に寄贈します。

- (7) 宮崎県教職員互助会美術展（教美展）を開催します。

県内3会場で、絵画、書、写真、工芸などの作品を展示します。あわせて、県内で鑑賞する機会の少ない県外公募展において入選した作品も展示します。

さらに、専門家を招へいし、県民参加型の「ギャラリートーク」を実施します。

また、企画委員及び実行委員制作による色紙等の作品を鑑賞者に抽選で贈呈します。

- ・宮崎展「宮崎県立美術館」 平成26年1月9日（木）～1月18日（土）
- ・都城展「都城市立美術館」 平成26年1月21日（火）～1月26日（日）
- ・延岡展「延岡総合文化センター」 平成26年1月30日（木）～2月6日（木）

- (8) スポーツ支援事業を実施します。

県民がそれぞれの体力や年齢、技術、目的等に応じて、スポーツに親しめるよう、スポーツバイキングなど体験参加型の「宮崎県エンジョイスポーツフェスティバル」を実施します。

また、本県競技力の向上を図るため、全国大会等で入賞歴のない種目や県内で普及が十分でない競技への普及促進についても支援します。

■ 現職会員及び退職互助部会員を対象にした事業

- ② (1) 文化・教育活動助成事業を実施します。
事業検討委員会からの報告を受け、生きがいや自己啓発・自己研鑽を支援するため、県教育研修センター等と連携し自主研修及び自主研究グループ等への支援を行います。

また、職場や地域での文化活動を支援するため、会員が中心となって文化活動を行っている5名以上のサークルを対象に文化活動助成を行います。

- (2) 会員著書を購入します。
購入は2冊までとし、市販されているものはその定価、定価のない場合は、1冊3,000円を上限とします。
- (3) 顧問弁護士による相続・不動産等に関する無料法律相談事業を実施します。
顧問弁護士
江 藤 利 彦 弁護士（宮崎市）
大 塚 幸 治 弁護士（都城市）
佐々木 龍 彦 弁護士（延岡市）
- (4) 退職互助部会員の協力を得て確定申告手続き説明会を実施します。
また、税務署等で実施している無料相談会を活用するよう呼びかけます。
- (5) 九州各互助団体の会員並びに家族を対象にした全教互九州ブロック協議会共同事業「会員証割引事業」を実施します。さらに、利用施設を拡充し会員の利便性を図ります。
- (6) 全教互（全国教職員互助団体協議会）の陳情署名活動を行います。

■ 現職会員を対象にした事業

- (1) 本会への理解と加入促進を図るために、新規採用者及び新規加入者に記念品を配布するとともに、全職員に「互助会報」を配布します。
- (2) 針・灸・マッサージ等施術料補助を実施します。
教職員互助会が指定する施術所でマッサージ等の施術を受けたときに補助します。ただし、健康保険適用となるものは除きます。
ア 補助額 1回あたり1,000円
イ 補助回数 年度6回まで
- (3) 緑内障・白内障などの目の病気等の早期発見と予防のためにアイドック（眼科健診）を実施します。
ア 定員 500名
ただし、定員を超えるときは、次の順位で決定します。
① 平成24年度 未受診者
② 年齢の高い者
イ 補助額 3,200円
ウ 個人負担 1,000円
エ 実施期間 平成25年6月3日(月)から平成26年2月28日(金)までとします。
オ 検査機関 宮崎市・都城市・延岡市・日南市・小林市・西都市・日向市の8施設

- ④ (4) 人間ドック補助を実施します。
健康維持・増進のため、公立学校共済組合宮崎支部と連携し定年退職予定者が公立学校共済組合宮崎支部の人間ドックを受診したときに補助します。

ア 対象者 平成25年度定年退職予定者で公立学校共済組合宮崎支部の人間ドック（日帰りドック・宿泊ドック）を受診した会員
イ 補助額 5,000円

- (5) 祝金事業を実施します。

出産祝金事業

ア 事由 会員の子どもが誕生したとき
ただし、夫婦とも教職員互助会の会員の場合は、どちらか一方を対象とします。
イ 支給額 20,000円（双胎以上は、1人につき20,000円）

入学記念品事業

ア 事由 会員の子どもが小学校に入学したとき
ただし、夫婦とも教職員互助会の会員の場合は、どちらか一方を対象とします。
イ 支給額 20,000円相当の祝品又は20,000円の祝金

結婚祝金事業

ア 事由 会員が結婚したとき
両人とも教職員互助会の会員の場合は、会員ごとに支給します。
イ 支給額 20,000円

- (6) 永年勤続記念品事業を実施します。

ア 対象者 教職員互助会の在会期間が21年目、31年目を迎えた会員
イ 支給額 10,000円相当の記念品又は祝金

- ⑤ (7) 退会時特別慰労金を新設します。

教職員互助会に20年以上在会し、各種祝金を受給せず退職により退会したとき退会時特別慰労金を支給します。

ア 対象者

下記①から③すべてに該当し、平成25年4月1日以降に退職により退会する会員

①在会期間が20年以上の会員

②平成24年度から実施の結婚祝金、出産祝金、入学記念品のいずれの支給も受けていない会員

③平成15年度まで実施していた結婚祝金、銀婚祝金、平成17年度までに実施していた入学祝金、卒業祝金のいずれの給付も受けていない会員

イ 支給額 30,000円

- ⑧ (8) 会員及び家族等の親睦やリフレッシュを目的に指定宿泊施設に宿泊したときに補助します。

補助は、1施設ごとに年度内4泊までとします。ただし、年度内の総泊数の上限を20泊とします。

補助額

対象者	宮崎県内の施設	宮崎県外の施設	公立学校共済組合の施設	
			九州・山口	左記以外の全国
現職会員及びその扶養認定配偶者	2,500円 (1,000円)	2,000円	3,000円 (1,000円)	2,000円 (2,000円)

※ () の金額は、公立学校共済組合宮崎支部の助成分。補助額に含む。

- (9) メガネ購入補助事業を実施します。
視力矯正のためにメガネ、コンタクトレンズを購入したとき、4年に1回5,000円を限度に補助します。
- (10) 鑑賞補助事業を実施します。
芸術鑑賞やスポーツ観戦をしたとき、年度内3回まで補助します。
補助額は、2,000円を超える入場料の半額とし、上限は2,000円とします。
- (11) 退職互助部地区世話人会と連携して、「退職後の生活を考える会」を実施します。
退職予定者だけでなく、退職まで数年ある方や配偶者等の参加も呼びかけます。
- (12) 地区運営委員会が中心となって、会員の親睦やリフレッシュ等を目的とした事業を各地区で実施します。
- (13) 退職後の経済的な安定を支援するため、「教職員積立年金」の募集を行います。
募集期間 平成25年7月2日(火)から9月6日(金)までとします。
- (14) 事業廃止に伴う経過措置
平成18年度から平成23年度に教職員互助会へ新規加入した会員については、リフレッシュ助成事業の支給要件である在会期間5年を満たしていないこと、平成23年度に本事業の見直しに着手していたことにより、助成金の支給を見合わせていました。下記の会員に対し既支給者との均衡を考慮し、平成25年度から4年間かけ助成金を支給します。
- ア 対象者 平成18年度から平成23年度に教職員互助会へ加入した会員で、加入期間5年を迎えた会員
- | | | | |
|-----------|---|----------|------------------|
| ①平成18年度加入 | — | 平成23年度該当 | } ・ ・ 平成25年度支給 |
| ②平成19年度加入 | — | 平成24年度該当 | |
| ③平成20年度加入 | — | 平成25年度該当 | |
| ④平成21年度加入 | — | 平成26年度該当 | ・ ・ ・ ・ 平成26年度支給 |
| ⑤平成22年度加入 | — | 平成27年度該当 | ・ ・ ・ ・ 平成27年度支給 |
| ⑥平成23年度加入 | — | 平成28年度該当 | ・ ・ ・ ・ 平成28年度支給 |
- イ 支給額 10,000円

- ⑨ (15) 災害見舞金に附加金を新設します。
風水害、火災、震災により、住居又は家財に3分の1以上の損害を受けた会員に対して、新たに「災害見舞金附加金」を加算し給付します。

給付額 100,000円

損 害 の 程 度		災害見舞金	⑨ 災害見舞金附加金
1	住居及び家財の全部が焼失し、又は滅失したとき	600,000 円	100,000 円
2	住居及び家財に前号と同程度の損害を受けたとき		
1	住居及び家財の2分の1以上が焼失し、又は滅失したとき	300,000 円	100,000 円
2	住居及び家財に前号と同程度の損害を受けたとき		
3	住居又は家財の全部が焼失し、又は滅失したとき		
4	住居又は家財に前号と同程度の損害を受けたとき		
1	住居及び家財の3分の1以上が焼失し、又は滅失したとき	150,000 円	100,000 円
2	住居及び家財に前号と同程度の損害を受けたとき		
3	住居又は家財の2分の1以上が焼失し、又は滅失したとき		
4	住居又は家財に前号と同程度の損害を受けたとき		
1	住居又は家財の3分の1以上が焼失し、又は滅失したとき	100,000 円	100,000 円
2	住居又は家財に前号と同程度の損害を受けたとき		
1	住居又は家財に5分の1以上3分の1未満の損害を受けたとき	50,000 円	—

- ⑩ (16) 会員の経済支援の観点から貸付事業を改正します。
- ア 限度額の拡大
生活資金貸付は、100万円を200万円とします。
教育資金貸付は、200万円を400万円とします。
- イ 返済方法
返済回数を増やすことにより、毎月の会員の負担額を少なくします。
- ウ 廃止する貸付
利用件数の少ない貸付を廃止します。
保険料貸付
パソコン購入貸付
奨学資金貸付
※奨学資金貸付については、現在、交付中のものは継続します。
- エ 毎月返済額と貸付総額による新規貸付の制限
多重債務防止の観点から毎月返済額が給料月額25パーセントを超えることとなる場合、または未返済元金の合計が1,000万円を超えることとなる場合は、新たな貸付を行いません。
- オ 教育資金貸付の校種等の拡大
高等専門学校、大学間の協定に基づく留学にも利用できます。
- カ 貸付金額は、最低10万円からの申し込みとなります。

■ 退職互助部会員を対象にした事業

- (1) 退職互助部の財政を長期に安定させるために、保険数理人の試算結果等を基に療養補助金給付額等の見直しを行います。
- (2) 地区世話人会を中心に、会報の手配りを通じて会員相互の交流・親睦を図ります。また、「会報の手配り体制検討委員会」で、引き続き会報の手配りのあり方等について検討します。
- (3) 生きがい支援事業を実施します。
会員親睦旅行、グラウンドゴルフ県大会を実施します。
また、文化面での生きがい支援についても検討します。

- ④ (4) 会員の病気の早期発見と予防のため、人間ドック補助事業を実施します。
今年度から「がん検診」を充実させます。また、県外在住の会員は、居住地の検査機関で受診できるように改善を図ります。

ア 一日健診

受診は3年に1回とします。

- ・定員 300名
ただし、定員を超えるときは、抽選で決定します。
- ・個人負担 6,000円
- ・実施期間 平成25年7月1日（月）から平成26年2月28日（金）まで
- ・検査機関 宮崎市・都城市・延岡市・日南市・小林市・高鍋町の9施設

イ 1泊2日の人間ドック

加入後3年以内の会員を対象に、受診は1回とします。

- ・定員 100名
ただし、定員を超えるときは、加入年数が長い会員を優先します。
- ・個人負担 24,000円
- ・実施期間 平成25年7月1日（月）から平成26年2月28日（金）まで
- ・検査機関 宮崎市1施設

ウ MRI検査

受診は3年に1回とします。

- ・定員 300名
ただし、定員を超えるときは、抽選で決定します。
- ・個人負担 8,000円
- ・実施期間 平成25年7月1日（月）から平成26年2月28日（金）まで
- ・検査機関 宮崎市・都城市・小林市・高鍋町の6施設

- ⑤ ② 会員が親睦やリフレッシュを目的に指定宿泊施設に宿泊したときに補助します。補助は、1施設ごとに年度内4泊までとします。ただし、年度内の総泊数の上限を20泊とします。

補 助 額

宮崎県内の施設	宮崎県外の施設
1,500 円	2,000 円

- ⑥ ② 新退職者とその配偶者等を対象に、退職後の健康・生きがい・経済に関する「退職者のつどい」を実施します。
- ⑦ ② 会員の安心・安定的な経済支援のために、中長期的な資産運用としての一時払い型終身保険を紹介します。
- ⑧ ② 会員の「療養補助金請求」への理解を深めるために、療養補助金説明会を実施します。
- ⑨ ② 会員の高齢化に伴い介護の必要な会員が増えてきていることから、その支援のあり方等について研究を進めます。

■ その他

- ⑩ ② (1) 統合・閉校の記録として、追録本と校歌CDの作成に取り組みます。
後世に語り継ぐ資料として、創立45周年記念事業で出版した「ここに学校があった 戦後50年 統合・閉校の記録」の追録本作成及び統合・閉校した学校の校歌を音の記録として残すためのCD作成について、編集委員会を中心に取り組みます。
- (2) 弁護士及び公認会計士、保険数理人等と顧問契約を行います。
一般社団法人移行後の運営を円滑に推進するため、弁護士及び公認会計士、保険数理人等と顧問契約を行います。
- (3) 知事部局等からの転入者や臨時的任用職員等の事務担当者が増えていることから、互助会担当者に対して本会の事業の周知を図るとともに、関係団体との連携を強化します。
- ⑪ ② (4) ホームページの一層の充実を図ります。
各種申込書や補助券発行等について、ホームページの機能を拡張し、会員の利便性を図ります。

【説 明】

⑩ ② : 新規事業

⑪ ② : 既存事業のうち改善する事業

平成25年度予算

一般社団法人移行に伴い、公益法人会計基準（平成20年会計基準）を適用し、会計の全面的な見直しを行いました。

平成25年度運営方針並びに事業計画に基づく予算及び会計区分は次の3通りです。

1) 会計区分

- (1) 実施事業等会計・・・公益目的支出計画の対象となる事業を経理する会計
- (2) その他会計・・・・公益目的支出計画以外の事業を経理する会計
- (3) 法人会計・・・・上記(1)・(2)以外で本会の管理運営に関する会計

2) 経常費用の内容

実施事業等会計 事業費 32,700,000円	公益目的支出計画を実施するための事業費 舞台芸術公演事業、文化芸術振興事業、スクールコンサート、 臨床心理士相談事業など
その他会計 事業費 1,695,276,000円	給付事業 療養補助金及び入院、休職、障害、介護、災害、退職、 死亡したときなどの給付金 厚生事業 宿泊補助、メガネ購入、芸術鑑賞・スポーツ観戦、祝金、 健診補助費等の補助 会報、地区事業、相談事業、会員著書購入、積立年金保険料など
法人会計 管理費 149,099,398円	事務局の管理運営費、諸会議費など

平成25年度（2013年度）正味財産増減予算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位：円)

科 目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	[0]	[81,693,000]	[241,000]	[81,934,000]
受取掛金	[0]	[1,454,500,000]	[0]	[1,454,500,000]
事業収益	[0]	[91,965,000]	[0]	[91,965,000]
受託金	[0]	[14,690,000]	[0]	[14,690,000]
雑収益	[0]	[295,714,000]	[0]	[295,714,000]
経常収益計	0	1,938,562,000	241,000	1,938,803,000
(2) 経常費用				
事業費	[32,700,000]	[1,695,276,000]	[0]	[1,727,976,000]
管理費	[0]	[0]	[149,099,398]	[149,099,398]
経常費用計	32,700,000	1,695,276,000	149,099,398	1,877,075,398
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 32,700,000	243,286,000	△ 148,858,398	61,727,602
投資有価評価損益等	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 32,700,000	243,286,000	△ 148,858,398	61,727,602
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	0	△ 134,900,000	134,900,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 32,700,000	108,386,000	△ 13,958,398	61,727,602
一般正味財産期首残高	0	178,200,000	158,400,000	336,600,000
一般正味財産期末残高	△ 32,700,000	286,586,000	144,441,602	398,327,602
II 指定正味財産増減の部	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 32,700,000	286,586,000	144,441,602	398,327,602

総 会 代 議 員 (50音順)

氏 名	所 属	氏 名	所 属	氏 名	所 属
青木 一生	宮崎工業高等学校	河野 裕至	中 央 南	堂 園 修	宮崎商業高等学校
赤藤 忠	県 北	川原 貞孝	中 央 南	戸 田 純子	中 央 西
後野 みち子	妻 中 学 校	菊田 関男	日 向	飛 松 博二	中 央 東
安藤 育生	飯野小学校	久徳 菊雄	中 央 北	富 井 浩	赤 江 小 学 校
安藤 登	中 央 北	櫛 間 俊夫	中 央 南	富 高 壽雄	中 央 北
安藤 博文	江平小学校(都城市)	栗 山 重隆	中 央 南	富 永 いつ	櫛 中 学 校
安楽 淳一	石山小学校	黒木 京子	大 王 谷 中 学 校	富 永 隆一	大 宮 小 学 校
池田 清美	小戸小学校	黒田 好晴	都 農 小 学 校	富 山 耕一	都 北
猪崎 勉	中 央 北	郡 司 静香	中 央 西	外 山 隆己	高 原 小 学 校
石井 陽祐	中 央 北	幸 丸 公章	児 湯	外 山 隆己	沖 水 小 学 校
伊東 洋祐	中 央 南	児 玉 玉章	中 央 東	中 島 年文	西 階 中 学 校
井口 禎嗣	大塚中学校	後 藤 等	県 南	中 武 莊二	吾 田 東 小 学 校
猪俣 恵司	延岡工業高等学校	齊 藤 郷子	妻 南 小 学 校	長 戸 厚生	県 南
井元 理絵	宮崎中学校	坂 口 和代	日 向 高 等 学 校	長 友 美紀	宮崎農業高等学校
今村 弘子	乙房小学校	坂 元 直文	都 北	長 友 美紀	赤 江 東 中 学 校
岩切 哲夫	西 諸	佐々木 茂	都 城 工 業 高 等 学 校	中 邑 芳 邦之	中 央 西
岩崎 真寿美	都城商業高等学校	佐々木 親造	中 央 西	新 名 弘之	日 向
岩下 重広	佐土原小学校	佐 藤 幸一	県 南	西 田 千代子	赤 江 ま っ ば ら 支 援 学 校
岩田 麻矢	木花中学校	里 岡 淳一	日 南 く ろ し お 支 援 学 校	西 山 順子	宮 崎 小 学 校
上田 晶子	高岡小学校	佐 保 忠智	中 央 北	二 宮 昭一	山 田 小 学 校
内田 博文	富田小学校	澤 祥 市	中 央 西	丹 山 孝洋	加 納 中 学 校
内田 富士夫	高鍋東中学校	重 水 隆英	宮崎海洋高等学校	野 口 和広	本 庄 高 等 学 校
内田 泰彦	日之影中学校	七 條 賀雄	北 郷 小 学 校	野 村 幸浩	山 之 口 中 学 校
内村 ふたみ	都 北	島 寄 洋次郎	中 央 北	野 脇 正毅	市 木 中 学 校
海野 千尋	都城さくら聴覚支援学校	下 原 純子	宮 村 小 学 校	橋 本 博	中 央 南
浦田 かおる	都城西高等学校	下 東 満美	櫛 小 学 校	畠 中 幸治	都 北
江田 茂典	都 北	杉 田 浩一	中 央 東	原 田 照文	中 央 南
大井手 久雄	都 北	隅 田 田鶴子	美 々 津 中 学 校	原 田 義和	高 千 穂 小 学 校
大窪 浩二	木城小学校	瀬 戸 口 輝昭	中 央 東	比 恵 島 俊朗	浦 之 名 小 学 校
大田 博章	日向工業高等学校	園 木 雅子	祝 吉 中 学 校	日 高 和久	中 央 南
大原 伸彦	児 湯	大 道 せつ子	日 南 く ろ し お 支 援 学 校	平 原 博子	中 央 南
岡 藺 好子	茶臼原小学校	高 木 博嗣	都 北	福 島 啓介	大 束 小 学 校
緒方 邦俊	宮崎南小学校	高 塚 明美	黒 岩 小 学 校	藤 本 秀人	門 川 中 学 校
緒方 忠久	県 北	高 橋 由和	県 南	藤 原 正典	日 向
岡部 裕一	佐土原高等学校	高 藤 輝重	県 北	布 施 大	中 央 北
押川 賢二	赤江中学校	田 上 幸雅	宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校	古 川 弘	延岡工業高等学校
小野 まさ子	沖水中学校	竹 下 忠良	日 向	本 田 圭吾	佐土原高等学校
甲斐 計二	南中学校(延岡市)	田 中 修	宮崎海洋高等学校	本 田 淳子	方 財 小 学 校
甲斐 計助	中 央 南	谷 博 喜	高 鍋 西 中 学 校	本 部 敏信	県 南
甲斐 久志	財 務 福 利 課	谷 口 律子	生 目 中 学 校	前 田 博仁	中 央 東
甲斐 正彦	延岡商業高等学校	田 上 修二郎	富 島 中 学 校	前 田 昌之	高 鍋 西 中 学 校
加藤 利宏	都農東小学校	津 田 幸子	宮崎農業高等学校	松 元 秀治	妻 北 小 学 校
金丸 敏弘	本庄小学校	鶴 田 映子	日 知 屋 東 小 学 校	三 秋 智義	学 校 政 策 課
川並 康之	延岡しりやま支援学校	出 樋 睦美	加 久 藤 小 学 校	三 木 由江	都 農 高 等 学 校
河野 紀子	加久藤中学校	出 口 修身	都 北	溝 口 量子	緑ヶ丘小学校

次ページへ続く

氏名	所属	氏名	所属	氏名	所属
宮内文子	中央北	村橋誠	綾中学校	山下真司	教育研修センター
宮里昌也	三納小学校	安井英展	綾小学校	山下訓康	西諸
宮里陽一	加久藤中学校	安田茂	伊形小学校	山田弘義	中央南
宮園秀敏	恒富中学校	柳久美子	児湯	由浅繁	県南
宮永秀文	中央西	柳田秀樹	宮崎工業高等学校	吉田英穂	上新田小学校
宮本篤子	穆佐小学校	柳橋富子	南郷小学校	吉村司	都城きりしま支援学校
向田佳代子	都北	矢野隆司	小林秀峰高等学校	渡邊浩三	児湯
村橋茂	小松原中学校	山内佳寿子	生目台中学校	渡邊康典	中央北

地区運営委員

◎は地区運営委員長 ○は地区事務局長

西白杵	川越良一 (五ヶ瀬中等教育)	江藤真弥 (高千穂高)	吉川勉 (日之影中)	◎竹原哲郎 (田原小)	永野孝次 (高千穂中)	○原田義和 (高千穂小)	内田泰彦 (日之影中)
県北	段正一郎 (延岡高)	古川弘 (延岡工業高)	◎宮園秀敏 (恒富中)	吉野裕喜 (北浦小)	溝口量子 (緑ヶ丘小)	安田茂 (伊形小)	○田邊譲治 (恒富中)
日向	黒木康博 (日向ひまわり支援)	大渡祐司 (富島高)	◎郡政利 (財光寺中)	黒木朝子 (財光寺小)	黒木博美 (財光寺小)	小野道芳 (塩見小)	○寺町裕史 (財光寺中)
児湯	後藤徹一 (都農高)	福留賢次 (高鍋農業高)	◎黒田好晴 (都農小)	岡菌好子 (茶臼原小)	北林加津子 (富田中)	○前田昌之 (高鍋西中)	後野みち子 (妻中)
中央	有枝定幸 (宮崎大宮高)	本田圭吾 (佐土原高)	◎永野雅康 (綾中)	西森敏弘 (生目小)	丹山孝洋 (加納中)	池田清美 (小戸小)	○緒方邦俊 (宮崎南小)
県南	里岡淳一 (日南くろしお支援)	○松木寿一 (日南振徳高)	沖田茂 (細田中)	◎福島啓介 (大束小)	野脇正毅 (市木中)	柳橋富子 (南郷小)	大道せつ子 (日南くろしお支援)
都北	吉村司 (都城きりしま支援)	佐々木茂 (都城工業高)	村橋茂 (小松原中)	◎二宮昭一 (山田小)	今村弘子 (乙房小)	小野まさ子 (沖水中)	○野村幸浩 (山之口中)
西諸	笹岡広則 (小林高)	矢野隆司 (小林秀峰高)	◎有田勝典 (真幸中)	川崎正一 (東方小)	今川雅雄 (加久藤小)	出樋睦美 (加久藤小)	○宮里陽一 (加久藤中)
教育庁	◎柚木崎誠一朗 (総務課)	○本田潤一 (財務福利課)	飯干賢 (学校政策課)	市川誠 (対 ^テ 振興課)	安部博己 (教職員課)	長峯勝志 (生涯学習課)	長友由美子 (教育研修センター)

退職互助部運営委員

委員長	石山重廣		委員	布施大典	中央北	委員	児玉次男	児湯
副委員長	金丸光臣		委員	串間弘康	中央西	委員	森茂樹	日向
委員	吉村弘子		委員	本部敏信	県南	委員	高藤輝重	県北
委員	平原博子	中央南	委員	富山耕一	都北	委員	甲斐保夫	西白杵
委員	瀬戸口輝昭	中央東	委員	矢野侑三	西諸			

退職互助部地区事務局長

中央南	大浦勇次	県南	藤井晃治	日向	園田雪臣
中央東	中山和郎	都北	山川裕彦	県北	後藤武則
中央北	渡野幸治	西諸	黒木伸次	西白杵	興梠純一
中央西	吉野俊一	児湯	三好正明		

ようこそ退職互助部へ

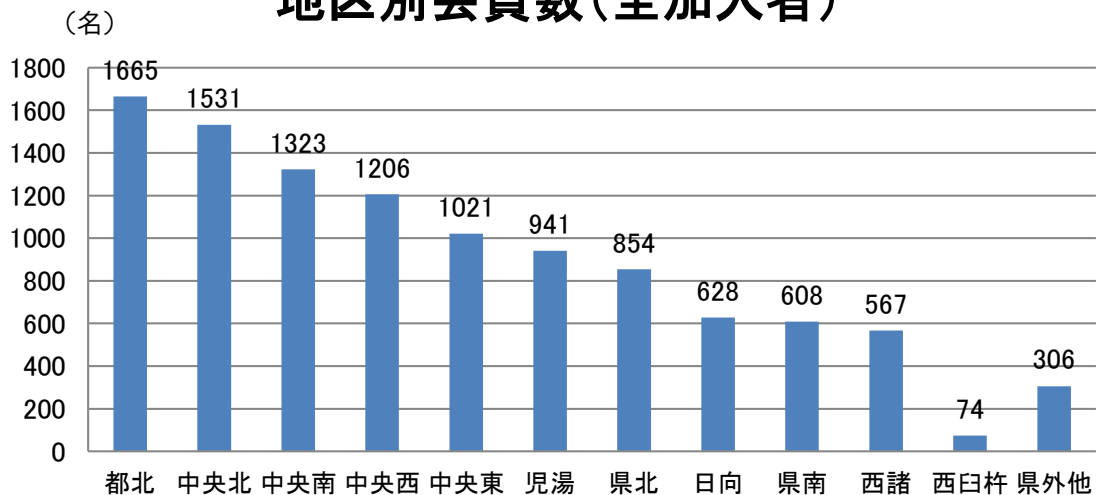
281名の新加入者を迎えます

退職互助部の全加入者数は10,724名、平均年齢は74歳となっています（平成25年6月1日現在、新加入者含む）。

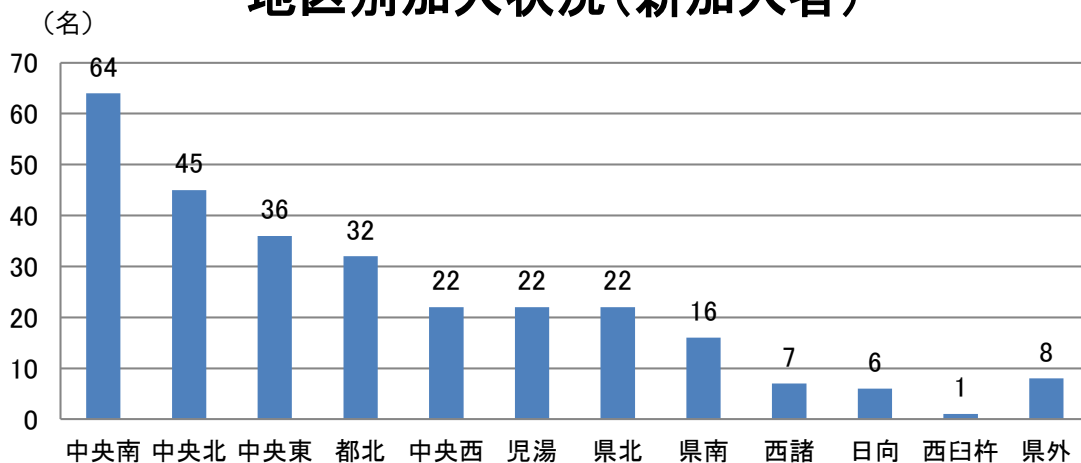
退職互助部の運営は、各地区で世話人や班長を引き受けていただいている方々、地区事業の担当者として計画から実施までご尽力いただいている方々など、多くのみなさんのご協力により成り立っています。下記のグラフからも分かるように、地区により所属する加入者数や新加入者の加入状況にバラつきがあるなど、運営が難しい地区もあろうかと思えます。限られた方に地区等での役割が集中することなく、みなさんで積極的に各活動に協力・参加しましょう。

前述の状況に加え、高齢化も退職互助部には避けることのできない課題のひとつであり、療養補助金給付や退互部報の手配りなど退互部事業の在り方について検討していく必要があります。加入者のみなさんに協力をお願いするばかりでなく、退職互助部としても「加入していて良かった」と感じていただけるよう努力していきます。

地区別会員数(全加入者)



地区別加入状況(新加入者)





©Disney

ディズニー・オン・クラシック まほうの夜の音楽会 2013 Happiness with You ~ “笑顔” とともに

この公演は、都城市文化振興財団・MAST共同事業体との共同主催事業です。

会員券申込締切：平成 25 年 7 月 31 日（水） ※当日消印有効

11回目を迎えるディズニー・オン・クラシックは、「Happiness with You ~ “笑顔” とともに」をテーマに、ディズニーの輝く名曲の数々をNYブロードウェイで活躍するヴォーカリストたちと、フルオーケストラの演奏でお贈りします。

公演日：平成 25 年 12 月 12 日（木）
会 場：都城市総合文化ホール（大ホール）
開 場：午後 6 時 開演：午後 7 時

◆会員券料金及び座席数

	座席数	会員券	一般券
S席	150	5,000円	8,000円
A席	150	3,500円	6,500円

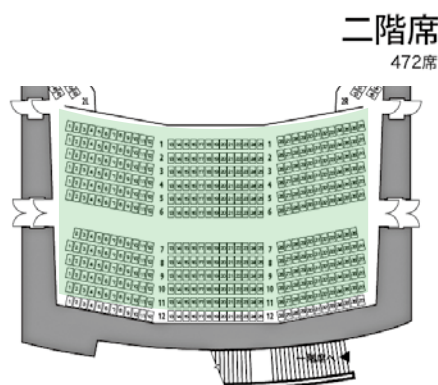
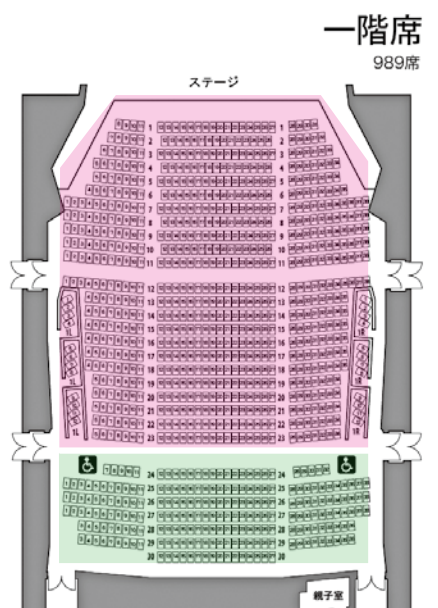
◆会員券の申込要項

申し込みについて

- 申込枚数は、会員 1 人につき S 席、A 席合わせて 2 枚以内です。
- 座席のランク（S 席、A 席）の希望はできますが、座席番号の希望はできません。
- 申し込みが定員を超えた場合は、申し込まれた会員ごとに抽選します。
- 未就学児の入場は、ご遠慮ください。
- 車いす席をご希望の方は、教職員互助会までお問い合わせください。

申込方法

- 原則として、電話による申し込みの受け付けは行いません。郵送、FAX 又はメールにてお申し込みください。
- 会員番号・区分、会員氏名、住所、電話番号、希望の座席（S 席、A 席）、枚数を必ず書いて申し込んでください。
- 抽選に外れた場合、「希望以外の座席に変更」又は「希望の座席以外は取り消す」旨を必ず書き添えてください。



ステージ写真は過去の公演です

©Disney

会員券のお届けと料金の支払方法

- 会員券は8月下旬にお届けします。料金は、会員券と一緒にお届けする振込用紙で、お近くの宮崎銀行から送金してください。

申込先

宮崎県教職員互助会 〒880-0801 宮崎市老松1丁目2番2号
 TEL: 0985-29-1242 FAX: 0985-27-4146
 E-mail: gojyokai@miyazaki-kyogo.or.jp

平成25年度 舞台芸術公演スケジュール

<演目一覧>

公演日	演目	会場	会員券案内時期
平成25年 9月1日(日)	劇団四季 「ソング&ダンス～感謝の花束～」※	延岡総合文化センター 大ホール	
11月20日(水)	松竹「大歌舞伎」 野崎村 江島生島	宮崎県立芸術劇場 演劇ホール	7月号 会報掲載予定
12月3日(火)	宝塚歌劇団 月組公演 「JIN-仁-」「Fantastic Energy!」	宮崎市民文化ホール	
12月12日(木)	ディズニー・オン・クラシック まほうの夜の音楽会 2013	都城市総合文化ホール 大ホール「きりしま」	今月号掲載
平成26年 3月12日(水)	人形浄瑠璃「文楽」	宮崎県立芸術劇場	9月号 会報掲載予定

※劇団四季演目変更について

劇団四季延岡公演について、当初公演を予定しておりました「ウェストサイド物語」をご案内しておりましたが、劇団四季から急遽、四季60周年の企画としてもっといいものを提供させていただきとの要望があり、演目が、『劇団四季ソング&ダンス』シリーズ最新作に変更となりました。

演目変更の詳細につきましては、[互助会ホームページ](#)をご覧ください。か、[教職員互助会 \(0985-29-1242\)](#) へお問い合わせください。

互助会無料法律相談

利用できる人

- 会員及びその配偶者、子、親

相談方法等

- 相談者のことや内容等のプライバシーは厳守されます。
- 事前に電話での予約が必要です。
- 相談は30分以内です。
- 相談日1日につき8名以内で、先着順です。
- 面談が原則ですが、電話相談もできます。
- 面談の場所は、弁護士の法律事務所です。

※江藤 利彦 弁護士

〒880-0801 宮崎市老松1-5-1
 電話(0985)20-9911 FAX(0985)20-9909

相談日

原則として、第2金曜日の午後1時30分から午後5時30分まで

9月までの相談日

7/19、8/9、9/13

※大塚 幸治 弁護士

〒885-0075 都城市八幡町1-1-1
 電話(0986)46-9666 FAX(0986)46-9777

相談日

原則として、第2土曜日の午前9時から午後1時まで

9月までの相談日

7/13、8/10、9/14

※佐々木 龍彦 弁護士

〒882-0816 延岡市桜小路365-1
 電話(0982)34-3535 FAX(0982)21-3492

相談日

原則として、第2金曜日の午前10時から午前12時、午後1時から午後3時まで(受付時間は午前11時30分まで及び午後14時30分までです。)

9月までの相談日

7/12、8/9、9/13

藤城清治

公益文化事業

光と影のファンタジー

2013年 6月29日(土) ▶ 9月1日(日) 会期中無休
開館時間：10:00～18:00 (入室は17:30まで)



『アリスのハート』2005年 ©Seiji Fujishiro/Hori Pro

観覧料 一般：1,200円 (1,000円)
小中高生：600円 (400円)

※()内は前売券及び20名以上の団体料金。
※身体障害者手帳、障害者手帳、療育手帳をご提示の方及びその介護者1名は無料。

日本における影絵作家の第一人者である藤城清治の作品は、神秘的な光と静寂の影によって、自然や人間の美しさが表現されており、見るものの心に優しく、そしてあたたかく語りかけてきます。89歳を迎えてなお意欲的に作品制作に取り組む姿勢と、そこから創り出される幻想的な作品は、多くの人々に夢と希望、そして生きる喜びと感動を与えています。

本展では、モノクロの初期作品から鮮やかな色彩で彩られた近作まで約60年間の作品が、懐かしく、そして夢のある美しい空間をつくり出します。また今回の展覧会のために宮崎県内をスケッチして作り上げた最新作を含め、約200点を展示いたします。

主催：藤城清治展実行委員会
〔宮崎県教職員互助会、宮崎県立美術館、
宮崎日日新聞社、UMKテレビ宮崎〕

問い合わせ先： 宮崎県立美術館 (0985-20-3792)

よみがえる恐竜時代

陸海空の絶滅生物たち



宮崎県総合博物館

7/13(土) ⇒ 9/1(日)

観覧時間 9:00～17:00 (入室は16:30まで) 観覧料：大人1000(800)円、小中高生500(300)円 前売券の発売は7月12日まで

※7/13は開会式のため10:00開場 7/24、25は21:00まで(入室は20:30まで) ※()は前売り・20名以上の団体 ※未就学児は無料 ※身体障害者手帳、療育手帳、障害者手帳をご持参された方はご本人と介護者1名の方は無料。

恐竜が陸上に繁栄した時代には海や空にも多くの生物が登場しました。27mの恐竜、12mの首長竜、10mの翼竜など巨大生物を中心に中生代の不思議な生物を陸・海・空3つのコーナーで紹介します。

会員証による割引事業 (全教互九州ブロック協議会 会員証)

「会員証」を提示することによって、「藤城清治～光と影のファンタジー～」 「特別展 よみがえる恐竜時代～陸海空の絶滅生物たち～」が前売券価格(左ページ参照)で観覧できます。

加入者及びその家族が、九州各県の割引施設に会員証を提示することによって、所定の割引等の特典を受けることができる会員証による割引事業を行っています。割引等の特典がある施設は、「割引施設一覧」(平成23年度に配布)でご確認ください。



紛失等で会員証の再発行が必要な場合は、会員証作成費用相当分として50円切手1枚と80円切手を貼った返信用封筒を同封して、教職員互助会に送付してください。

文芸誌「しゃりんばい」第36号 原稿募集

部門・規格等は、下記のとおりです。

投稿を希望する方には、募集要項・応募用紙をお送りしますので教職員互助会(0985-29-1242)までご連絡ください。



「しゃりんばい」
第35号

- 1 応募資格 教職員互助会の加入者
- 2 応募点数 一人1作品
- 3 部門・規格

応募締切
平成25年8月31日(土)
厳守のこと ただし、消印有効

小説	10枚以上50枚以内	詩	本文80行以内
エッセー (紀行・書評を含む)	3枚以上10枚以内	童話	5枚以上30枚以内
短歌	10首	文芸評論	10枚以上50枚以内
俳句	10句	戯曲 (演劇の台本も可)	20枚以上50枚以内

4 応募原稿等

- 1) 自作の未発表作品に限ります。
- 2) A4判400字詰め原稿用紙使用のこと
 - ワードプロ又はパソコンを使用の場合も20字×20行の400字詰めとします。
 - 原稿には、必ずページをうってください。

わくわく文芸講座のご案内

日時 平成25年9月22日(日) 午後1時00分から4時30分まで
場所 宮崎県立図書館(宮崎市)

*詳細は、「退互部報7月号」で案内します。

加入者の方だけでなく
どなたでも参加できます。

住所変更等の連絡は済んでいますか？

加入者のみなさんからお届けいただいている住所等については、退互部報の配付など教職員互助会の事業にのみ使用しています。

変更の手続きは電話で済みます。住所や送金口座に変更がある場合は、退職互助部(0985-29-1243)へご連絡ください。



指定宿泊施設宿泊料金について

平成25年度 指定宿泊施設一覧に記載の料金に誤りがありました。

<宿泊施設名>

シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート

(指定宿泊施設一覧 5ページ掲載)

誤	休前日 13,700円~/2人
	↓
正	休前日 27,400円~/2人

療養補助金についてのお知らせ

療養補助金の請求期限は、受診月の翌月から起算して2年以内です。

例

医療機関を受診した月	提出(請求)期限
平成23年6月 →	平成25年6月末まで
平成23年7月 →	平成25年7月末まで

※まとめて2年分の請求を受け付けることは出来ませんが、スムーズに送金手続きを行うため、半年から1年をめどに請求してください。

敬 弔

氏名	年齢	逝去日	地区	氏名	年齢	逝去日	地区	氏名	年齢	逝去日	地区
中本 清	91	H25.1.11	中央東	稲葉 光子	78	H25.4.25	中央東	長谷場チカ	88	H25.5.14	中央西
千代森幸雄	82	H25.3.7	都 北	藤野 成幹	90	H25.4.29	中央西	倉永 義英	69	H25.5.14	中央北
森 司郎	87	H25.3.17	都 北	白石日支子	75	H25.4.30	中央南	寺原 正勝	96	H25.5.16	県 北
谷口平五郎	92	H25.4.10	西 諸	古澤 絹代	86	H25.5.2	県 南	上山 安彦	76	H25.5.16	県 南
國貞 豊	82	H25.4.16	県 外	伊藤 允隆	81	H25.5.2	中央西	西道 三男	88	H25.5.17	中央西
吉田 久光	83	H25.4.18	県 南	坂本 正典	81	H25.5.6	中央西	寺田 万里	86	H25.5.17	都 北
市原 政人	88	H25.4.19	県 北	山川 定一	77	H25.5.6	中央北	藤藪 重保	77	H25.5.17	児 湯
佐藤 吉則	82	H25.4.19	中央西	樋口ミエコ	84	H25.5.7	県 北	大重 満雄	77	H25.5.19	児 湯
渡辺 真之	88	H25.4.20	県 北	宇和田征人	70	H25.5.11	県 北	河野 工	76	H25.5.19	中央南
久保 和彦	81	H25.4.20	西 諸	興梶 一元	83	H25.5.12	県 北	山田 光	82	H25.5.23	中央南
山田 一男	75	H25.4.23	中央南	高崎 景雄	88	H25.5.13	西 諸	緒方フミエ	89	H25.5.25	中央西
河内 リン	95	H25.4.25	日 向	椎葉 良邦	83	H25.5.13	日 向	山田恵美子	81	H25.5.25	中央南
喜多 誠意	87	H25.4.25	県 北	西 創一郎	90	H25.5.14	西 諸				